

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

## 教育委員会の点検・評価

(平成28年度対象)



平成29年6月

酒々井町教育委員会

## 1 はじめに

この報告書は、

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第26条）の規定に基づき、平成28年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会教育長及び教育委員名簿（平成29年4月1日現在）

職 名	氏 名
教 育 長	木 村 俊 幸
教育長職務代理者	石 井 國 治
委 員	村 重 浩 二
委 員	林 洋 子
委 員	浦 壁 京 子

## 2 教育委員会会議の開催状況等

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催します。平成28年度は合計で12回開催しました。

(1) 定例会・・・12回

また、教育委員会の所管事項について調査・研究する委員協議会（意見交換会）を平成28年度は14回開催しました。（定例教育委員会会議に関する意見交換、町教育振興基本計画及び平成29年度教育施策に関する意見交換など。）

## 3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第5条の規定に基づき、平成28年度は合計で29件について審議しました。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件
- (2) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・・・・・5件
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・・6件
- (4) 教育に関する事務の点検・評価に関すること・・・・・・・・・・・・1件
- (5) 附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11件
- (7) 教科書その他の教材の取り扱い方針に関すること・・・・・・・・・・1件
- (6) 教育委員会の各表彰規程に基づく表彰・・・・・・・・・・・・1件
- (8) その他、重要な事項に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件

規則に基づく審議案件の他、報告事項、協議事項についても取り扱いました。

報告事項（29件）の概要

- (1) 教育委員会の各種行事等の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・12件
- (2) 町予算の議決に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5件
- (3) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12件

協議事項（2件）の概要

- (1) 選出依頼のあった各種協議会等の委員の選考・・・・・・・・・・・・2件

### 月別の主な審議議案等の概要

実施月	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月定例会	5	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属機関等委員の委嘱</li> <li>・公民館定期休館日の特例規則の一部改正</li> </ul>
5月定例会	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月補正予算（案）</li> <li>・私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正</li> </ul>
6月定例会	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会の点検・評価報告書（案）</li> <li>・附属機関等委員の委嘱</li> </ul>
7月定例会	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科用図書採択</li> </ul>
8月定例会	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食費に関する条例制定</li> <li>・9月補正予算（案）</li> </ul>
9月定例会	1	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館休館日の開館</li> </ul>
10月定例会		2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月、10月補正予算の議決結果</li> </ul>
11月定例会	1	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月補正予算（案）</li> </ul>
12月定例会		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月補正予算の議決結果</li> </ul>
1月定例会	1	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会被表彰者の選考</li> </ul>
2月定例会	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属機関等委員の委嘱</li> <li>・3月補正予算（案）</li> <li>・新年度当初予算（案）</li> </ul>
3月定例会	5	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興基本計画の策定</li> <li>・教育施策の策定</li> <li>・附属機関等委員の委嘱</li> <li>・補正予算、当初予算の議決結果</li> </ul>
合計	29	29	2	

#### 4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成28年度教育委員会の基本理念、重点施策、推進目標に基づく、各課、教育機関における主要事業を中心に、33事業について点検・評価を行いました。

#### 5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会事務局で作成した「教育施策評価表」により実施しました。

評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について、実績・成果・課題を記述し、AからEの5段階で評価するとともに、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただきました。

##### (1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している
- B おおむね順調に達成している
- C 達成見込みであるが課題がある
- D 達成できなかった
- E その他

##### (2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・事業を拡大充実する
- 現状維持・・・現状を維持継続していく
- 改善・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する
- 統合・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める
- 期限付・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する
- 休止・・・事業を休止する（復活の可能性あり）
- 廃止・・・事業をやめる

#### 6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した33事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「平成28年度教育施策評価一覧表」を添付しました。

##### (1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している・・・21事業
- B おおむね順調に達成している・・・9事業

- C 達成見込みであるが課題がある・・・ 2事業
- D 達成できなかった・・・・・・・・・・ 1事業

(2) 方針の分類 (今後の方向性)

- 拡大・・・・・・・・ 3事業
- 現状維持・・・ 25事業
- 改善・・・・・・・・ 5事業

7 まとめ

当町教育委員会では、課題の取り組みや方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を目指すひとつの方策として点検・評価を実施しました。

また、平成28年度酒々井町教育施策として策定した基本理念「しなやかに・・・すこやかに・・・いきいきと・・・」に基づき、重点施策、推進目標を策定し、これらに基づく各課、教育機関における主要事業について、点検・評価を行いました。

評価を実施した主要事業については、事業の目的に従い、計画的に実施されていることから、概ね適正かつ順調に執行されたものと判断していますが、実施方法に工夫や改善が必要である事業も見受けられますので、次年度の予算編成や事業計画を策定する上で検討を重ね、さらに町民の皆様のご意見を取り入れながら、高まる教育ニーズに対応することが必要であると考えています。

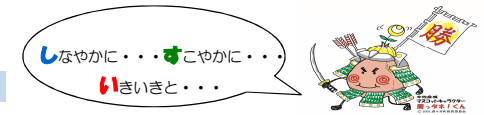
なお、今回の点検・評価の結果については、町ホームページによる公表を行いますので、町民の皆様からご意見等をいただき、今後の事務事業の執行に反映させていきたいと考えています。

※ 評価委員会委員

職 名	氏 名
委員長	久本 邦夫
委員	長谷川 睦
委員	柳 橋 幸雄

平成28年度事業に係る評価委員会開催状況  
 第1回 平成29年 6月12日 (月)

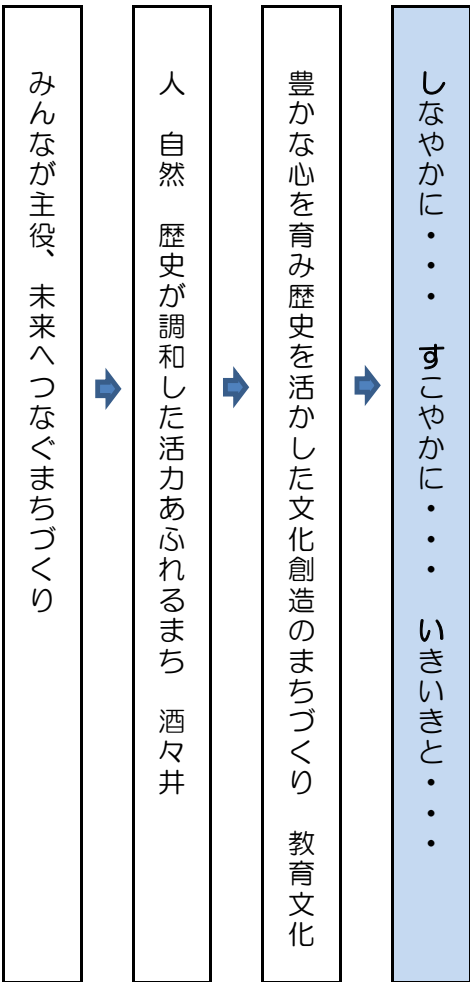
# 平成28年度 教育施策体系図



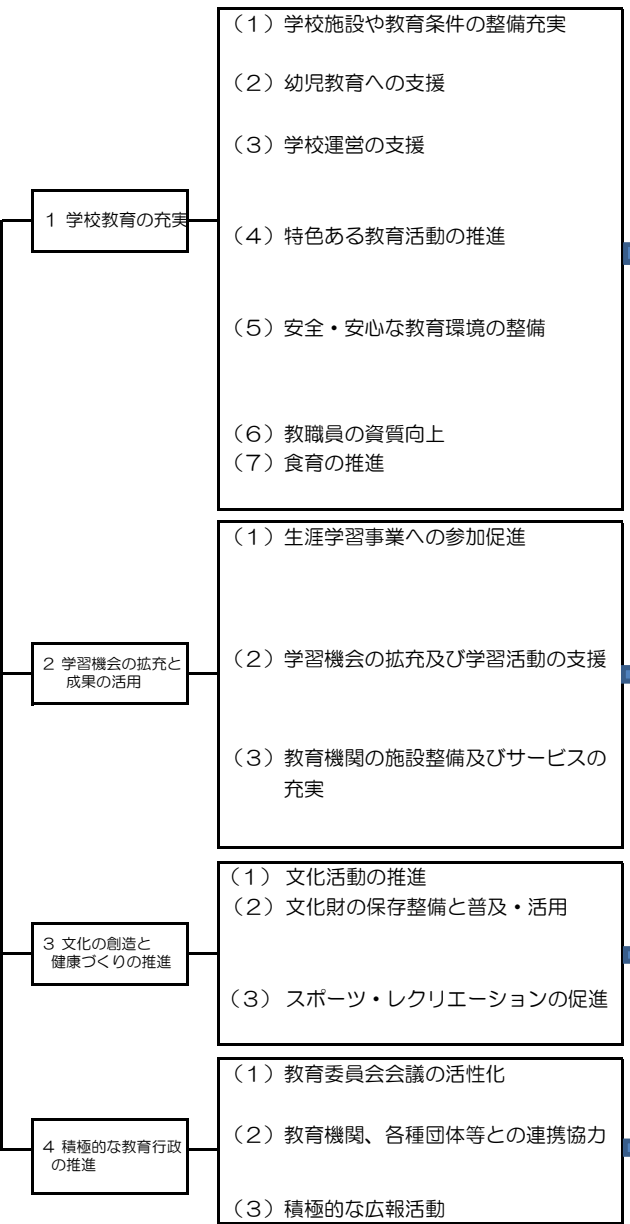
まちづくりの  
基本理念  
 将来都市像  
 基本目標  
 基本理念

重点施策  
 推進目標

主な事業など



地域教育力の向上



- ①酒々井中学グラウンド整備事業（新規） ②酒々井中学校消火管改修工事（新規） ③学校図書館の充実 ④就学援助事業
- ①私立幼稚園就園奨励費補助金の支給、私立幼稚園運営費・教材費の助成
- ①スクールサポート指導員・小学校スクール支援員（理科）の配置 ②特別支援教育の充実 ③保育園・小学校の英語活動、中学校の英語指導の充実 ④ALTの活用 ⑤図書館教育の充実 ⑥学校適応心専門相談員の配置
- ①人権・同和教育の推進 ②教職員の特色ある教育活動の支援 ③保小中連携推進事業の推進 ④豊かな心を育むCTSプラン事業の推進 ⑤部活動支援事業の推進 ⑥中学生国際交流派遣事業の推進
- ①いじめ防止対策の推進とネットパトロールの実施 ②スクールバスの運行 ③通学路安全点検の実施（新規） ④食物アレルギーの手引きに沿った給食アレルギー対応 ⑤食材放射線測定器による食材の定期的計測 ⑥調理機器（連続揚物機）設備更新事業
- ①教職員研修の充実
- ①栄養士による栄養指導 ②栄養教諭・栄養士による家庭科授業の参加
- ①家庭教育学級の充実 ②子ども会活動の活性化 ③人権教育セミナーの開催 ④青少年相談員活動の充実 ⑤成人式及び盛年式の開催 ⑥北海道陸別町児童交流事業の実施 ⑦生涯学習を通じたまちづくりフォーラムの開催（町長部局との共催）
- ①学校教育支援促進事業の充実 ②土曜日の教育支援体制等構築事業の実施（こども青樹堂） ③青少年おもてなしカレッジの実施 ④公民館主催の各種講座の充実と学習成果の活用（青樹堂） ⑤公民館施設の円滑な運営 ⑥中学生への学習支援（地域未来塾）（新規）
- ①公民館施設の維持管理 ②公民館施設の計画的な改修 ③公民館施設の耐震補強工事 ④プリミール酒々井の施設及び各種機器等の維持管理 ⑤図書等の蔵書資料の拡充 ⑥酒々井町子ども読書活動の推進
- ①文化協会への助成 ②郷土研究会への助成
- ①本佐倉城跡整備事業の実施 ②ボランティアガイドの育成、活用 ③史跡ウォーキングの実施 ④文化財管理及び歴史的な文書保存利活用 ⑤まちの顔づくり推進事業 ⑥墨古沢南I遺跡発掘調査の実施
- ①各種スポーツ教室・大会の開催 ②第67回印旛郡市民体育大会 ③活動の場となる体育施設整備の検討
- ①総合教育会議・教育委員会会議の工夫・公開 ②研修会への積極的参加、意見交換会の充実
- ①順天堂大学との相互協力 ②スクールボランティアによる学校支援 ③キャリア教育の充実 ④生徒指導における警察・児童相談所等との連携協力 ⑤地産地消の積極的な取組（生産者との連携）
- ①ホームページの充実 ②勝っタネ！くんの活用

教育委員会の点検・評価

平成28年度

教育施策評価一覧表



## 平成28年度 教育施策評価表

	所属名		こども課
重点施策	1 学校教育の充実		
推進目標	(1) 学校施設等の整備充実		
事業名	①酒々井中学校グラウンド整備事業（新規）		
施策の概要	酒々井中学校のグラウンド拡張整備を実施するにあたり、平成28年度は用地購入事業（不動産鑑定評価、用地購入）、用地測量、基本設計を行う。		

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		24,314	17,283
	用地購入は、平成27年度（2名、3筆）に引き続き、2名、2筆2728.10㎡を購入した。また、用地測量についても、計画図（スケッチ）に示した範囲の地権者のご協力をいただき、境界立会いを済ませ、個別の用地の面積を算出することができた。		
	グラウンド整備の基本設計は、二度の入札不調により、実施できなかったため、平成29年度予算に計上し、実施する予定である。		
課題・問題点	基本設計業務は、入札不調となったため、原因を分析し、実施できるよう取り組みたい。また、今後は、用地購入が順調に進むよう地権者に対する事業説明を行うとともに、施設整備にあたっては、国・県の情勢に留意し、有利な財源の確保に努めたい。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	用地交渉など、難しい面もあるかと思うが、生徒の学習環境を良くするための施策であるので、達成に向けて努力を続けていただきたい。

## 平成28年度 教育施策評価表

	所属名		こども課
重点施策	1 学校教育の充実		
推進目標	(2) 幼児教育への支援		
事業名	①私立幼稚園就園奨励費補助金の支給、運営費教材費の支給		
施策の概要	私立幼稚園就園奨励費補助事業は、子ども・子育て支援法第27条第1項の確認を受けた幼稚園を除く私立幼稚園に就園している園児の保護者に対し、国の補助基準額に合わせた補助金を年度末に園を通じて助成する。 また、特色ある幼児教育活動の推進を目的とし、町内私立幼稚園に対して200千円の運営費を、5月1日基準日に在園している町内在住園児1名に対して1千円の教材費の補助を行う。		

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		33,981	29,979
	私立幼稚園就園奨励費補助事業9園 229名 29,381千円 酒々井町私立幼稚園運営費2園 200千円×2園 酒々井町私立幼稚園教材費補助金2園 198名×1千円		
	平成27年度と比較し、私立幼稚園就園奨励費補助金は2園29名3,975千円減少し、教材費補助金は27名27千円減少した。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） ..... .....		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	..... ..... .....
---------	-------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	学校教育課
重点施策	1 学校教育の充実	
推進目標	(3) 学校運営への支援	
事業名	①スクールサポート指導員・小学校スクール支援員（理科）の配置	
施策の概要	特別な支援が必要な児童に対して、専門の支援員を配置し、学習活動や生活全般の援助を行います。また、小学校に配置されるスクール支援員は、理科教育の充実を図るため、町内2校の小学校で専門的な授業を行います。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		6,633	7,486
	スクールサポート指導員を配置した結果、子どもの成長に合わせた適切な支援をすることができた。理科教育の充実のために配置されている学習指導員については、子どもたちの興味・関心を高める授業を行い、理科教育の充実に貢献している。		
課題・問題点	特別な支援が必要な児童は、近隣のどの市町村でも増加傾向である。子どもや保護者のニーズを尊重しながら、支援の拡大が今後も予想されるので、現状に見合った支援をするための人材の確保、財源の確保が課題である。また、理科教育への支援は成果が出ている。今後はこのような専門の教科に対する支援を増やしていけば学力向上への効果も期待できる。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	酒々井町は、手厚い人員配置をしており、サポートを必要とする児童・生徒にとって、良い環境と見受けられる。今後も、このように充実した体制が確保できるよう取り組んでいただきたい。
---------	----------------------------------------------------------------------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	学校教育課
重点施策	1 学校教育の充実	
推進目標	(3) 学校運営の支援	
事業名	④ALTの活用	
施策の概要	小中学校における国際理解教育の推進を図るために、ALTを直接雇用し、 ティームティーチングによる指導を中心にして、コミュニケーション能力の向 上を図る。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		6,811	6,808
	ALTを直接雇用（2名）していることにより、充実した英語教育を実施で きている。特に小学校低学年・中学年では、ALTと連携しながら年間指導計 画に沿った外国語活動が実施できた。中学校においてはスピーチコンテストの 指導等にもALTが関わり、また、授業での効果的な運用ができたことで、コ ミュニケーション能力の育成に努めることができた。		
課題・問題点	中学校におけるALTの活用について、今後はさらに拡充をしていきたい。 平成29年度については、小学校での英語教育の教科化に備え、ALTととも に充実した教育内容を検討し、スムーズな英語教育を行っていくようにする必 要がある。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	酒々井町は手厚い配置をしているので、今後も継続できるよう取り組んで いただきたい。
---------	----------------------------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	学校教育課
重点施策	1 学校教育の充実	
推進目標	(3) 学校運営の支援	
事業名	⑤図書館教育の充実	
施策の概要	学校図書館と公立図書館との連携を深めるとともに、学校図書館アシスタントを各小中学校に配置し、図書館の機能を活かした教育活動の充実を図る。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		1,630	1,626
	学校図書館アシスタントの図書館だよりの発行や工夫した図書館運営によって、図書館の活用の充実が図られている。プリミエール酒々井との連携によって、各小中学校において調べ学習に活用できる図書が充実し、学校図書館の効果的な運用が図られた。また、学校図書館における新旧図書の入れ替えがスムーズに行えたことで、図書の充実を図ることができた。		
課題・問題点	今後も新旧図書の入れ替えを活発に行い、図書の充実を図るとともに、蔵書率の更なる向上に努めたい。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	小さな町のフットワークの良さを活かし、今後も図書の充実を図っていただきたい。
---------	----------------------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	学校教育課
重点施策	1 学校教育の充実	
推進目標	(4) 特色ある教育活動の推進	
事業名	①人権・同和教育の推進	
施策の概要	人権アンケートを実施することで、そこから得られた児童生徒の意識（実態）を反映した研究を深めながら、人権・同和教育活動を推進する。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額 450	平成28年度決算見込額 500
	人権アンケートの結果をもとに、人権教育の視点に基づいた指導を心がけながら授業に取り組んだ。今年度は、11月15日に酒々井小学校で人権教育公開研究会を実施した。この研究会は、文部科学省からの2年間の指定校事業のまとめとして開催され、道徳や特別活動の授業実践を発表することができ、子どもたちの人権意識の高まりに繋がった。		
課題・問題点	人権に対する意識を今後も学校教育活動の中でさらに高めていきたい。また人権教育をさらに盛んにしていくことが、9年間の義務教育を行う上で、非常に効果があると考えられるので、小中連携事業を活用し、児童生徒それぞれの成長に合わせた人権教育を活発にしていくことが課題である。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	..... ..... .....
---------	-------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	学校教育課
重点施策	1 学校教育の充実	
推進目標	(4) 特色ある教育活動の推進	
事業名	②教職員の特色ある教育活動の支援	
施策の概要	各学校の特色ある教育活動の積極的な推進を図るため、「教職員の特色ある教育活動支援事業」を実施し、児童生徒に対する教育効果をあげるための調査研究活動を支援する。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		400	400
	今年度も、「教職員の特色ある教育活動支援事業」に3件の応募があり、熱心に教育活動に取り組んだ。酒々井中学校光江教諭の「部活動」に関する提案が第1席、酒々井小学校森川教諭の「ふれあい活動」と酒々井小学校清宮教諭の「道徳教育」についての提案が第2席となった。購入した教材等についても効果的に活用することができた。		
課題・問題点	補助金の使途が備品や教材購入にあてられているが、教育活動のさらなる向上を目指して、講師の派遣や研修会への参加といった指導技術の向上を目指した取り組みなども推奨していきたい。また、本年度からは各学校から必ず1点応募する方式ではなくなり、個人的な研究の推進を目指している。本年度はあまり参加が活発ではなかったため、さらに周知していく必要がある。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	<div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div>
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	学校教育課
重点施策	1 学校教育の充実	
推進目標	(4) 特色ある教育活動の推進	
事業名	③保小中連携推進事業の推進	
施策の概要	保小の交流会や小中学校交流会及び保小中連携分科会を実施し、学習指導や生徒指導における連携の円滑化を図る。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		300	300
	6月に特別支援学級小中交流会、10月には小中合唱発表交流会、12月には小中あいさつ運動等を実施した。保小中連携推進協議会では、保小のさらなる連携の在り方、小中では生徒指導部・研修部に分かれ、今後もさらに連携を推進していく必要性について話し合われた。生徒指導部ではスマートフォン等のトラブルが近年出てきているので、注意喚起の文書を配付した。		
課題・問題点	小中学校間では特別支援、生活科を含む11の教科と領域で分科会を行っているが、分科会で話し合われた内容をさらに充実させ、より連携を深めていく必要がある。小中9年間を見通した指導体制の強化が必要である。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	小中あいさつ運動については、課題が明確となっているので、教育委員会がリーダーシップをとって取り組んでいただきたい。
---------	-----------------------------------------------------------



## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	学校教育課
重点施策	1 学校教育の充実	
推進目標	(4) 特色ある教育活動の支援	
事業名	⑤部活動支援事業の推進	
施策の概要	中学校における部活動の充実を図り、生徒の心身を鍛え、健やかな成長を促すために、部活動支援事業の積極的な推進を図る。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		556	666
	中学校における各部活動の充実が図られ、各種大会やコンクールにおいて優秀な成績を収めることができた。また、順調に事業の推進が図られ、心身の健やかな成長を促すことができた。		
課題・問題点	県大会以上の大会へ参加する際の借り上げバスの費用については、保護者負担ではなく、部活動補助金で対応している。しかし、バス代の高騰により現状の予算では全く対応できていない。現在はPTAから援助を受けているが、それを継続していくことは非常に困難な状況である。今後さらなる予算の増額が必要である。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



評価委員の意見	予算が増額されているものの、取組状況は「C」となっている。部活動の状況によるが、満額は今後も厳しいものと考えられるので、一定の成果がある場合、取組状況は「B」などとする 것도検討していただきたい。
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	学校教育課
重点施策	1 学校教育の充実	
推進目標	(4) 特色ある教育活動の支援	
事業名	⑥中学生国際交流派遣事業の推進	
施策の概要	国際化に対応できる人材の育成を図るため、中学生を海外へ派遣する「国際交流派遣事業」を実施します。ホームステイや学校での体験学習を通して、英語力の向上を図るとともに異文化理解を深める。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		3,534	2,930
	今年度は20名の中学生が参加し、予定通りに実施することができた。6泊8日の現地での活動を有意義に送ることができ、解団式では参加した生徒たちが体験したことや感想をしっかりと述べることもできた。また、全校生徒の前でも堂々とした姿で感想を述べ、オーストラリアでの貴重な体験を伝えることができた。		
課題・問題点	本事業実施5年目を迎え、年々希望者が増えてきているが、生徒指導上問題を抱える生徒、経済的に困難な家庭の生徒、食物や動物等のアレルギーのある生徒等の対応に関して、募集要項の見直しが必要である。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	経済的に困難とあるが、町として将来に向けて人物の育成を行うのであればやる気・能力のある生徒が経験できるような取組に期待したい。また、日本や酒々井町の文化歴史をしっかりと学ぶことで、交流事業がさらに意義深くなるものと考えられるので、そのような取組にも期待したい。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	学校教育課
重点施策	1 学校教育の充実	
推進目標	(5) 安全・安心な教育環境の整備	
事業名	①いじめ防止対策の推進とネットパトロールの実施	
施策の概要	<p>各小中学校ごとに、各校の実態に応じた「いじめ防止基本方針」を作成し、教職員一人ひとりがいじめ問題の重要性を認識し、常に危機意識をもっていじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組みます。</p> <p>また、ネットパトロールを実施し、スマートフォン等のトラブル防止に努めます。</p>	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		96	96
	<p>各小中学校の生徒指導部を対象にした研修会を町教委主催で複数回開催し、いじめ問題に組織で対応できるように努めている。また、各小中学校の生徒指導体制及び教育相談体制の充実を図り、いじめの未然防止・早期対応・早期解決に努めることができた。スマートフォン等のトラブルについては、ネットパトロールを実施することで、未然防止と早期発見に努めることができた。</p>		
課題・問題点	<p>スマートフォン等によるトラブルについては指導はしているが、毎年起きている状況である。子ども達だけに周知するだけでなく、保護者に対する注意喚起を行うことやトラブルをなくすための効果的な方策を検討していく必要がある。</p>		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



評価委員の意見	<p>児童・生徒への啓発のほか、親に対する啓発も十分に行い、危機感を持ってもらえるような指導をお願いしたい。</p>
---------	------------------------------------------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	学校教育課
重点施策	1 学校教育の充実	
推進目標	(5) 安心・安全な教育環境の整備	
事業名	③通学路安全点検の実施	
施策の概要	学校関係者、道路関係者、警察、安全協会などとともに子どもたちが通う通学路の危険箇所をチェックし、各担当部署と相談し、通学路の補修・注意喚起を行う。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
	各関係者の協力の下、小中学校から通学路の危険箇所を提示してもらい、その箇所の点検を行い、すべての危険箇所において補修・注意喚起を実行することができた。		
	各学校から提示された危険箇所には、点検活動を行ったとしても補修が進まない箇所もある。そのような危険箇所について、さらに関係団体の協力を求めることが必要である。また、毎年8月に行っているが、冬の寒い時期にやることも交通状況や凍結などで違った危険箇所も表われることが考えられるので検討する必要がある。		
課題・問題点	各学校から提示された危険箇所には、点検活動を行ったとしても補修が進まない箇所もある。そのような危険箇所について、さらに関係団体の協力を求めることが必要である。また、毎年8月に行っているが、冬の寒い時期にやることも交通状況や凍結などで違った危険箇所も表われることが考えられるので検討する必要がある。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	..... ..... .....
---------	-------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(5) 安全・安心な教育環境の整備
事業名	⑤食材放射線測定器による食材の定期的計測
施策の概要	放射線濃度が国の基準を満たし流通したものであっても、更に町独自で下限値を定め測定することにより給食食材の安全性を高め、ホームページにおいて公表することで安全・安心な給食提供に努めます。 酒々井町放射線測定器（ガンマスペクトロメーター）計測によりセシウム濃度50ベクレル以上は使用をせず、精密検査機関において検査を実施する。

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		49	49
	週3回2品目（主菜1品・副菜1品）を原則とし、当日使用する食材の中から選定し検査する。		
	平成28年度検査実施数115回 すべて酒々井町の定める基準を下回り、安全が確認された。 平成24年度5月簡易測定器導入（機器購入費3,211千円）		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

## 平成28年度 教育施策評価表

	所属名	学校給食センター
重点施策	1 学校教育の充実	
推進目標	(5) 安全・安心な教育環境の整備	
事業名	⑥調理機器（連続揚物機）設備更新事業	
施策の概要	平成28年度調理機器設備更新事業において調理機器（連続揚物機）を更新する。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		0	5,476
	連続揚物機設備更新事業については、経年劣化が著しく、また児童生徒にも人気のある揚げ物献立を調理する代えのきかない設備であることから、今回の更新により安全で、安心な給食の提供に資すると考えられる。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

## 平成28年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(7) 食育の推進
事業名	①栄養士による栄養指導
施策の概要	小学1年生から6年生までの各クラスにおいて、学年に応じて「食」のテーマを設け、給食指導を行うなど食に関する興味関心を高めていく。 また中学1年生を対象に、生活リズムや食生活の乱れから陥りやすい身体の不調を予防するため「生活習慣病予防学習会」を行う。

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		0	0
	給食時間前15分を利用し、児童の年齢に応じたテーマの授業を栄養士が直接行うことで、食に関する知識、興味、関心を持たせるよう努めた。 中学生1学年生徒については、成長期に必要な栄養素や生活習慣の改善等の講話を行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

## 平成28年度 教育施策評価表

	所属名 学校給食センター
重点施策	1 学校教育の充実
推進目標	(7) 食育の推進
事業名	②栄養教諭・栄養士による家庭科授業の参加
施策の概要	小学5・6年生及び中学2年生の家庭科の調理実習等に栄養教諭がT.T(チームティーチング)として参加することで、専門的な視点から栄養面について児童生徒の食に関する指導を行う。また、中学校の運動部代表者を対象に部活中に陥りやすい熱中症予防対策やスポーツをする時に必要な栄養素を指導することで、事故を防ぎ身体能力を上げるためのサポートを行う。

### 3月末の状況

取組状況(達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		0	0
	家庭科の実技の授業において、教科担任だけでなく専門教諭が授業に協力することできめ細やかな授業展開が実現できた。また、中学1年生の調理実習では、「生鮮食品とは何かを理解し、選び方及び調理の仕方」を学ぶ授業に参加し、生徒達の調理のサポートを行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--



## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用	
推進目標	(1) 生涯学習事業への参加促進	
事業名	①家庭教育学級の充実	
施策の概要	様々な体験や活動を通して、家庭における教育力の向上を図ります。 家庭教育学級の講座の情報提供を実施することで、学級生の企画力を支援し 講座内容の充実を図る。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		975	991
	ローズマリー学級10回開催、酒々井小家庭教育学級7回開催、大室台小 家庭教育学級7回開催、酒々井中家庭教育学級7回開催した。 各学級の学習内容は、食育のための料理教室、教育講演会への参加、心肺 蘇生法・応急措置やフラワーアレンジメントなどの体験教室、施設や学校等 の視察等を実施した。		
課題・問題点	各学級ともに、全体的に学習会への参加者が少ない傾向にあるため、保護 者の就労、子どもの体調不良等、様々な原因もありますが、各講座について 事前に十分な広報を図る必要がある。 また、引き続き、保育園・幼稚園などに案内チラシを配布し、多くの保護者 の入級につなげていきたい。（ローズマリー学級）		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	家庭教育学級は、内容が充実していると聞いているが、参加者数が伸び悩ん ているようなので、人が集まるように取り組んでいただきたい。
---------	---------------------------------------------------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用	
推進目標	(1) 生涯学習事業への参加促進	
事業名	③人権教育セミナーの開催	
施策の概要	様々な人権に関する問題に気付き、それらを家庭、職場、学校あるいは地域社会で語り合うことができるための学習機会を提供する。 *年間6回開催	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		301	486
	第1回：千葉県中世武将と部落の起源 38名参加。第2回：無縁化する子どもたち 115名参加。第3回：幸せの国ブータンが教えてくれたこと 205名参加。第4回：「命の講演会」チャイルドラインとは？ 623名参加。第5回：盲導犬と共に生きて 40名参加。第6回：地域を創る～誰もが生まれてきてよかったといえる社会へ～ 150名参加。合計1,171名参加。		
課題・問題点	効果的なテーマ・講師を選定し、また、住民への周知方法をとることにより、参加人数を増加させることが課題となっている。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用	
推進目標	(1) 生涯学習事業への参加促進	
事業名	⑥北海道陸別町児童交流事業の実施	
施策の概要	町の次代を担う子どもたちの成長のため、異なる環境に触れ体験する機会を与え、また、陸別町の児童との交流を図ることで、子どもたちの視野を広げることを目的に実施する。 募集人員：20名（引率者5名）	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額 2,060	平成28年度決算見込額 1,962
	8月23日～25日に、町内の小学6年生20名と引率5名とで北海道陸別町児童交流事業を実施した。7月21日の結団式に始まり、3日間の事前学習を経て、陸別町役場表敬訪問や陸別小学校での交流、陸別町役場職員の説明による関寛齋資料館などでの学習、銀河の森天文台での天体観測などを体験することができた。		
	陸別小学校での交流の際に行う発表や3日間の訪問に向けての様々な準備、練習等を事前学習でしっかり行い、一人一人が熱意を持って主体的に事業に関わっていけるようにすることが今後の更なる課題である。 また、千歳空港から陸別町までの距離が長い為、行程を改善することが課題となっている。		
課題・問題点	陸別小学校での交流の際に行う発表や3日間の訪問に向けての様々な準備、練習等を事前学習でしっかり行い、一人一人が熱意を持って主体的に事業に関わっていけるようにすることが今後の更なる課題である。 また、千歳空港から陸別町までの距離が長い為、行程を改善することが課題となっている。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用	
推進目標	(2) 学習機会の拡充及び学習活動の支援	
事業名	①学校教育支援促進事業の充実	
施策の概要	<p>町内各小中学校に学校と地域ボランティアの調整役であるコーディネーターを配置するとともに、地域ボランティアとコーディネーターの活動拠点である地域ルームを設置し、学校教育支援を行う。</p> <p>また、教員経験者などの地域住民や教職員を目指す大学生の協力を得て中学生の学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的とした学習支援を行う。</p>	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		1,946	2,239
	<p>町内小中学校それぞれのコーディネーターを中心に、地域住民や保護者の協力を得て、ミシン指導の補助やプール監督補助等の授業支援、環境整備、行事での駐車場案内等を行った。</p> <p>酒々井中学校地域未来塾ではコーディネーターを中心とし、学習支援員の協力の元、54名の希望者を対象に数学と英語の学習支援を行った。</p>		
課題・問題点	<p>地域ボランティアの十分な確保と元教員や教員を目指す大学生などの学習支援員の確保、また中学生においては部活動との調整を図ることが課題となっている。</p>		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用	
推進目標	(2) 学習機会の拡充及び学習活動の支援	
事業名	②土曜日の教育支援体制等構築事業の実施	
施策の概要	子どもたちの豊かな人間形成を育み、確かな学力の定着に向けた学習プログラムを提供することを目的とし、休業日である土曜日に子どもたちが進んで学習や活動に取り組む場として開設する。 対象：町内小学校3・4年生1クラス及び5・6年生1クラス、各25人程度 参考：3・4年生クラスは、公民館事業こども青樹堂として平成22年度開始	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		928	886
	3・4年生対象の「こども青樹堂」は児童30名に全17回の学習会を実施し、国語（漢字の読み書き・意味等）・算数（加減乗除）等の基礎の学び方を学習し、自主的な学習活動を支えている。5・6年生対象の「土曜塾」は児童24名に全17回の学習会を実施し、算数・国語の基礎基本習熟と発展的な学習指導を行った。		
課題・問題点	教員（現職・経験者含む）や教職を目指す学生などの学習指導者の確保を図っていくことが課題となっている。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	_____ _____ _____
---------	-------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	中央公民館
重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用	
推進目標	(2) 学習機会の拡充及び学習活動の支援	
事業名	④公民館主催の各種講座の充実と学習成果の活用	
施策の概要	特別講座として「しすい青樹堂」を開講。また「コスモス会日本語教室」、町民文化祭等の自由講座を開講する。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額 591	平成28年度決算見込額 471
	しすい青樹堂では、順調に講座を進め、3月には3期生10名が卒業し、4期生10名が無事1年目の学習課程を修了することができた。		
	またコスモス会日本語教室では、それぞれのレベルに合わせた講座を行い、受講生の生活にあった講座を行った。		
課題・問題点	受講希望者は依然多いと言える状況ではないため、より住民ニーズにあった講座を開講できるよう講座内容を見直し、学習機会の拡充及び学習活動の支援に努めたい。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	青樹堂については、内容も充実し、卒業生は町のリーダーとして広く町に貢献されている。素晴らしい講座なので、ますます内容の充実を図るとともに、広報活動に取り組んでいただきたい。
---------	----------------------------------------------------------------------------------------

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	中央公民館
重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用	
推進目標	(3) 教育機関の施設整備及びサービスの充実	
事業名	③公民館施設の耐震補強工事	
施策の概要	中央公民館は町民の学びの場として設立され36年が経過している。 利用者がより安全に、そして安心してご利用できるよう目標IS値（安全の判定基準）を満たしていない講堂棟及び研修棟について耐震補強工事を行う。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		0	13,409
課題・問題点	現在、騒音や事故等が懸念される為貸館業務を中止しているが、利用者の負担ができる限り軽減されるよう再開に向けての準備をしたい。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

## 平成28年度 教育施策評価表

	所属名	プリミエール酒々井
重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用	
推進目標	(3) 教育機関の施設整備及びサービスの充実	
事業名	④プリミエール酒々井の施設及び各種機器等の維持管理	
施策の概要	プリミエール酒々井は開館から13年が経過し、機器等に修繕やメンテナンス、あるいは更新の必要が生じているため、施設本来の機能維持に努め、利用に支障を来さないよう計画的な修繕に努める。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		1,948千円	2,215千円
	(主な修繕)		
	歩道インターロッキング補修：289,440円		
	事務室エアコン修理：498,960円		
吸収式冷温水機修理：887,220円			
誘導灯バッテリー交換：133,920円			
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	一部では、駐車場が少ないとの声も聞かれるので、今後の検討事項としていただきたい。
---------	------------------------------------------



## 平成28年度 教育施策評価表

	所属名	プリミエール酒々井
重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用	
推進目標	(3) 教育機関の施設整備及びサービスの充実	
事業名	⑤図書等の蔵書資料の拡充	
施策の概要	図書館では、レファレンスサービスの充実と郷土行政資料の収集、保存、活用を図るとともに、利用者の多様化するニーズに対応するため、幅広い資料の購入に努めます。また、大活字本や録音図書など、高齢者、障がい者向け資料の充実に努める。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		4,810千円	4,762千円
	平成28年度購入冊数（うちリクエスト購入：567冊）		
	図書：2,452冊（大活字本：11冊 朗読CD：5点） 視聴覚資料：42点（DVD：15点 CD：27点）		
	平成28年度借用冊数：1,457冊		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 他館からの借用が平成26年度1,191冊、平成27年度1,046冊と多い状況となっている。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

## 平成28年度 教育施策評価表

	所属名	プリミエール酒々井
重点施策	2 学習機会の拡充と成果の活用	
推進目標	(3) 教育機関の施設整備及びサービスの充実	
事業名	⑥酒々井町子ども読書活動の推進	
施策の概要	平成27年4月に策定した「酒々井町子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが読書に親しむ機会の提供と充実を図る。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		55千円	65千円
	夏休み理科教室（7名）、夏休み工作教室（8名）、図書館講演会（100名） わらべうたの会（5回開催、延べ37名）、おはなし会（23回、延べ148名）、 かみしばいの会（17名）、図書館報発行（3回）、読書に関するアンケート実施 （町内小学校5・6年、中学校1・2年対象）、読書通帳の配布（547冊）		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
重点施策	3 文化の創造と健康づくりの推進	
推進目標	(1) 文化活動の推進	
事業名	①文化協会への助成 ②郷土研究会への助成	
施策の概要	酒々井町の文化・芸術・歴史等の文化活動の発展の推進を目的とし、町内の文化団体への補助金の交付を行う。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額 214	平成28年度決算見込額 214
	町内の文化団体への補助金の交付・活動の補助を実施し、酒々井町の文化・芸術・歴史等の文化活動の発展の推進が図られた。 補助金交付団体：文化協会・郷土研究会		
課題・問題点	役員の高齢化により、運営が困難になっていることが問題点である。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
重点施策	3 文化の創造と健康づくりの推進	
推進目標	(2) 文化財の保存整備と普及・活用	
事業名	①本佐倉城跡整備事業の実施	
施策の概要	<p>「本佐倉城跡整備基本設計」に基づき、入口広場整備工事を継続して行い、模擬矢盾の設置や園路上の危険木の伐採を行う。また本佐倉城跡へのアクセス道路となる町道02-011号線の回転場・駐車場予定地について発掘調査を実施するほか国史跡内の一部未公有地について土地鑑定を行う。普及活動としてはボランティアガイドと協働した見学会や公民館等での展示を行う。</p>	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		32,193	11,449
	<p>入口広場整備工事では、地方創生交付金を活用した模擬矢盾の設置や多言語看板の設置を実施し、園路上の危険木の伐採も終了した。町道整備に伴う発掘調査では6月から約2カ月半の確認調査を実施し、城跡当時のものと思われる土塁や井戸跡が検出され成果を得ることができた。一部未公有地となっている国史跡内用地については、平成30年度の公有地化（補助事業）に向け、土地鑑定評価を行い準備を進めた。普及活動としては3月11日に佐倉市・ボランティアガイドと共催で見学会を実施したほか、公民館ロビーの常設展示を更新し、新たな展示リーフの作成を行った。</p>		
課題・問題点	<p>今後の整備事業工程、指定地拡大の詳細について、町実施計画及び予算面と調整しながら、国・県と協議して検討していく必要がある。</p>		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
重点施策	3 文化の創造と健康づくりの推進	
推進目標	(2) 文化財の保存整備と普及・活用	
事業名	⑤まちの顔づくり推進事業	
施策の概要	江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を行ない、観光資源として活用すると共に、交流人口の増加を図る。本年度は地方創生交付金を活用して交流支援拠点整備マスタープランの作成や印旛沼眺望名勝地「下がり松」を活用するための用地購入を実施する。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		0	9,240
	地方創生交付金を活用して交流支援拠点整備マスタープランの作成（H28・H29年で継続）を委託により実施し、基礎資料の取りまとめを行うことができた。また、印旛沼眺望名勝地である「下がり松」の用地購入を今後の利活用を目指して公有地化を行った。		
課題・問題点	具体的な町並み整備・内容については、現在まちづくり課で進めている景観計画との整合性を図りながら、引き続き県やまちづくり課と協議を行い、検討を進める必要がある。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
重点施策	3 文化の創造と健康づくりの推進	
推進目標	(2) 文化財の保存整備と普及・活用	
事業名	⑥墨古沢南Ⅰ遺跡保存整備事業	
施策の概要	約3万年前の酒々井町最古の人類生活痕跡である墨古沢南Ⅰ遺跡の「環状ブロック群」の残り東半分について発掘調査を行い、その遺存状況や規模・内容を把握し、全国初かつ日本最大級の環状ブロック群として国史跡指定を目指し保存整備事業を進める。また、今後の調査・整備を的確に進めるため、有識者による調査指導委員会を設置・開催する。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		9,237	8,811
	10月より2カ月間、環状ブロック群本体南側の内容確認発掘調査を国・県の補助金を活用して実施し、環状ブロック群南側の範囲の限界をとらえることができるなど、今後の国史跡指定に向けての基本資料の集積を図ることができた。併せて有識者による調査指導委員会を設置・開催し、今後の調査研究に係る課題の整理・検討等を行った。		
課題・問題点	発掘調査等の継続によるさらなる資料の集積や有識者に調査指導・分析を受けるなど、国史跡指定に向けての遺跡の価値づけを十分に進めていく必要がある。併せて遺跡の周知・普及活動や今後の利活用の方向性も考えていかなければならない。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

## 平成28年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
重点施策	3 文化の創造と健康づくりの推進	
推進目標	(3) スポーツ・レクリエーションの促進	
事業名	①各種スポーツ教室・大会の開催	
施策の概要	スポーツ推進委員・体育協会など各種団体の役割に応じた各種スポーツ大会教室などを引き続き開催する。 また、町民のニーズにあった教室や大会を開催することにより、健康づくりや仲間づくりのきっかけを作っていく。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額 3,534	平成28年度決算見込額 3,620
	各種団体が役割に応じ、スポーツ大会・レクリエーション大会を開催し、延べ4,718人（27年度4,216人、26年度4,135人）の参加者を得、スポーツの振興、健康体力づくりのきっかけになった。		
	特に、ライトスポーツクラブは、毎週水曜日夜実施し、延べ1,107名（前年増276名）の参加があった。		
課題・問題点	いままで、スポーツ大会・レクリエーション大会等に参加したことのない新たな参加者を確保し、健康体力づくり・仲間づくりをするため、町民のニーズに合った大会の開催、PRの充実を図る必要がある。		

### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる

評価委員の意見	
---------	--

## 平成28年度 教育施策評価表

	所属名	こども課
重点施策	4 積極的な教育行政の推進	
推進目標	(1) 教育委員会会議の活性化	
事業名	②研修会への積極的参加、意見交換会の充実	
施策の概要	平成27年4月に施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に基づく新教育委員会制度への移行を円滑に進めるため、各種研修会等への積極的な参加により見識をさらに高めるとともに、教育長・教育委員による意見交換会の機会を増やし、教育行政の課題把握に努め、改善への道筋を検討するなど、教育委員会活動の活性化を図る。	

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		1,823	1,914
	研修事業については、関東レベルの研修会に参加したほか、千葉県教育委員会連絡協議会主催の各種行事に積極的に参加した。また、中学校への学校視察を始め、学校行事等への参加（主催含む）を重ね、教育現場の実情把握に努めた。 また、意見交換会を積極的に開催し、教育長・教育委員の意思疎通を図るとともに、そこで出された意見等をもとに学校施設の改修・修繕につなげるなど、成果を収めている。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 小中全校の訪問ができなかったため、H29に達成すべき課題とした。 また、総合教育会議の開催及び教育大綱の策定など、町長部局との連携により進める事業の有効な展開について、今後の課題としたい。		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--



## 平成28年度 教育施策評価表

	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">所属名</td> <td style="text-align: center;">学校給食センター</td> </tr> </table>	所属名	学校給食センター
所属名	学校給食センター		
重点施策	4 積極的な教育行政の推進		
推進目標	(2) 教育機関、各種団体等との連携協力		
事業名	⑤地産地消の積極的な取組（生産者との連携）		
施策の概要	<p>酒々井町農業生産者との連携を図り、収穫される米や野菜や加工品を積極的に使用し地産地消の推進に努める。また、栄養素の多い野菜を利用するなど新鮮で美味しい、バランスの良い給食の提供に努める。</p> <p>酒々井町のホームページの活用や給食だより、毎月の献立等で町の農業生産者の声を周知することで、生産者への日々の努力や命をいただく食材への感謝の気持ちの向上に努める。</p>		

### 3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成27年度決算額	平成28年度決算見込額
		9,099	7,884
	<p>平成28年度においても学校給食で使用する米は酒々井町で生産された米を精米し買い付けている。また、生産者と連絡を密にし収穫できる野菜の種類やタイミング、量を把握しながら積極的に給食に取り入れ、また献立表にも記載するなど広報にも努めた。</p> <p>新しい試みとして酒々井ハーブガーデンで栽培されたハーブを献立に採用した。今後も関係団体と調整し献立に取り入れられる食材を探しながら取り入れていきたい。</p>		
課題・問題点	<p>給食に提供できる農産物生産者の数が減り、また天候不順などの影響で給食に使用する希望量が質とともに揃わないことがあった。</p> <p>今後も協力していただける農産物生産者と連絡を密にし、新鮮で質のよい旬の食材を積極的に取り入れられるよう、献立を作成していきたい。</p>		



### 今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	<p>町の看板であるハーブを給食に取り入れており、評価できる。他市では、児童生徒が給食を提案する参加型の取り組みもあるので、酒々井町もハーブと関連付けた参加型の取り組みなどを検討していただきたい。</p>
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------